

# 事例報告

## 科研費業務と機関リポジトリ

---



JPCOAR オープンアクセスリポジトリ推進協会  
2018年度 機関リポジトリ新任担当者研修

関西外国語大学研究支援センター 三村裕紀

# 関西外国語大学について

- 沿革
  - 1953年 関西外国語短期大学開設
  - 1966年 関西外国語大学開設
- 学部 人社系
  - 中宮キャンパス  
英語キャリア学部・外国語学部・短期大学部・大学院
  - 御殿山キャンパス・グローバルタウン(今年度開学！)  
英語国際学部/[国際言語学部(2014年度募集停止)]
- 学生数 12,830名 専任教員数 325名 (2018年5月現在)

# 研究支援センター

## ◇業務内容

- － 科研費
- － 学内研究費
- － 研究所(3か所)の事務

## ◇所属長、専任2名、非常勤職員3名、兼任2名

研究支援ですが、URAはありません。教員研究業績は管轄外。  
研究費や科研費の諸手続きなどを行っている小さな部署です。

## ◆科研費業務

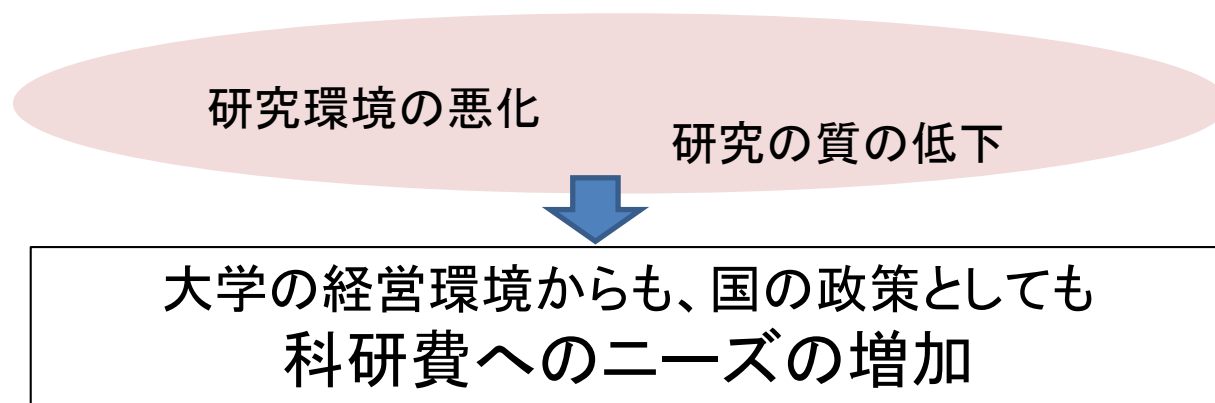
2014年9月研究支援センター発足。図書館業務の全面委託に伴い、**科研費業務も図書館から移管**

このお話しは、  
科研費とは無縁の機関リポジトリ担当者を想定しています。  
科研費担当者と連携すると何かいいことがあるかも——  
という視点で聞いていただければ幸いです。

科研費業務のあり方は大学によって様々です。  
本学では、必要最低限は行っているつもり・・・。

# 科学研究費助成事業(科研費)とは

- ◇科学＝人文・社会科学から自然科学までの全ての分野
- ◇基礎から応用までのあらゆる「学術研究」(大学等の研究者の自由な発想に基づく研究)を対象とする唯一の競争的資金
- ◇日本最大規模の公的資金
- ◇文部科学省、日本学術振興会が公募・審査・交付業務を行う



# [本学] 科研費との関わり

研究者番号

本学でも大学として科研費の応募・採択を促進

応募申請数は、  
2010年度は19件だったものが、  
2014年度には73件、2019年度(2018年11月  
申請分)は、**5年前の倍**の152件に

間接経費...  
大学の研究力の指標...?

・ **研究者番号**は専任教員全員が取得  
所属する機関が研究者情報をe-Radに登録

# 科研費関連のシステム①

## ■ e-Rad（イーラッド） <https://www.e-rad.go.jp/>

府省共通研究開発管理の略称。研究機関は「**研究者番号**」をここから取得しています。研究者はresearchmapと連携可能。

The screenshot shows the homepage of the e-Rad system. At the top, there is a navigation bar with the e-Rad logo, the title '府省共通研究開発管理システム', and links for 'ホーム' and 'English'. A green 'ログイン' button is on the right. Below the navigation bar is a menu with links: 'e-Radとは', '公募一覧', '登録・手続き', '操作マニュアル', and 'お問合せ方法'. The main content area has a blue background with text explaining the system's purpose: to support research funding management and prevent duplication of research expenses. It also mentions that the system is managed by nine government ministries. On the right side, there are two boxes: 'よくある質問と答え' (Frequently Asked Questions) and '科研費電子申請システム' (Research Fee Electronic Application System).

府省共通研究開発システム（e-Rad）は、各府省等が所管する競争的資金制度を中心とした公募型の研究資金制度について、研究開発管理に係る手続きをオンライン化し、応募受付から実績報告等の一連の業務を支援するとともに、研究者への研究開発経費の不合理な重複や過度の集中を回避することを目的とした、府省横断的なシステムです。

e-Radは、公募型の研究資金制度を所管する関係9府省により運営しており、各府省の協力の下、文部科学省がシステムの開発及び運用を行っています。

よくある質問と答え

科研費電子申請システム

科研費の応募、交付申請はこちら

[本学] 「研究者番号」は、機関リポジトリ**JAIRO Cloud**著者名典拠の外部著者ID「**科研費研究者番号**」として利用。

# 科研費関連のシステム②

■ KAKEN <https://nrid.nii.ac.jp/index/>

科学研究費助成事業データベース。科研費による研究課題検索と研究者検索の画面の2つがあります。研究者検索の画面ではORCIDと連携可能。

The screenshot shows the KAKEN website interface. At the top, there's a dark blue navigation bar with the KAKEN logo and links for '研究課題をさがす' (Find research topics) and '研究者をさがす' (Find researchers). A box on the left highlights the '研究者検索' (Researcher Search) link. The main content area has the KAKEN logo and the text '研究者をさがす' (Find researchers) and '科学研究費助成事業データベース' (Research Grant-in-Aid Database). Below this is a search form with a text input field, a '検索' (Search) button, and a '詳細検索' (Advanced Search) link.

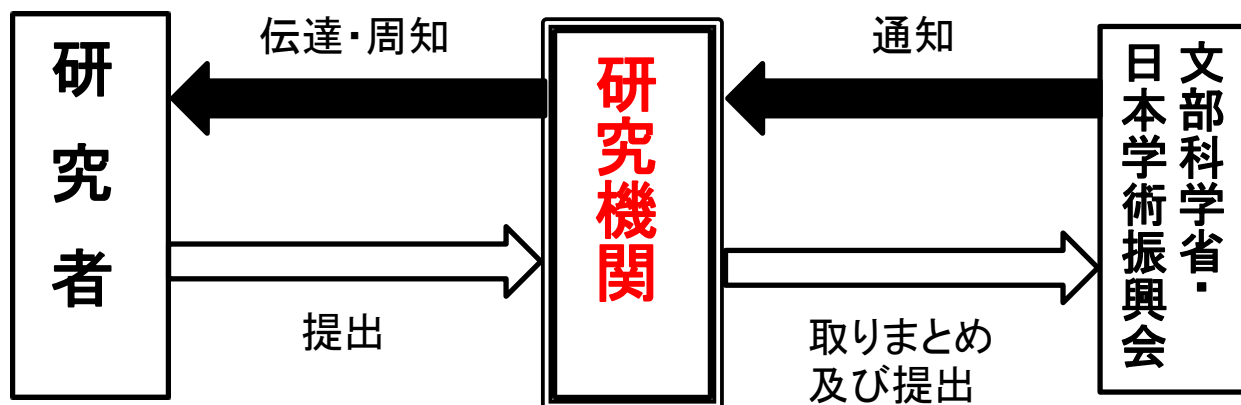
研究者番号を、JAIRO Cloud著者名典拠の外部著者「科研費研究者番号」(KAKEN-研究課題検索)または「KAKEN-研究者検索」に登録しておく、設定により、詳細画面の著者欄にKAKENへのリンクを表示することができます。

参考: JAIRO Cloud初級ユーザー向け手引書 5. 著書名典拠  
<http://id.nii.ac.jp/1038/00000202/> (2018-11-20参照)



# 科研費業務の概要

研究者による研究費の不正使用、不正受給、研究活動の不正行為防止のため、研究機関が関与。



## [研究機関が行う事務]

- ① 科研費の応募資格を有する研究者の登録を行うこと
- ② 応募・交付申請などの手続きを行うこと
- ③ 交付された科研費に係る管理・諸手続きを、研究者に代わって行うこと
- ④ 適正な執行管理を行うとともに、研究者への助言を行うこと
- ⑤ 補助事業に関係する書類を適正に管理・保管すること

# 科研費業務の概要

強制力を持つ  
2種のチェックリスト

■「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン(実施基準)」に基づく「体制整備等自己評価チェックリスト」[不正使用] (コンプライアンス教育の実施 など)

■「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」に基づく取組状況に係るチェックリスト [不正行為]  
・チェックリストの提出がない場合は、所属する研究者は科研費の応募ができない。不備があれば詳細確認調査があり、その結果に応じて管理条件(改善指導)が付与される。

## ○科研費公募要領等説明会(9月)

公募情報プラス文科省から伝えたいことの説明を直接聞ける貴重な機会。個別質問の時間も。今年度は、審査の際にresearchmapの掲載情報を必要に応じて参照することとした、などの説明があった。

# 科研費関連のシステム③

## ■researchmap <http://researchmap.jp/>

日本の研究者総覧として国内最大級の研究者情報データベース。  
e-Radと連携。公募要領等説明会、公募要領掲載などで登録推奨。  
2019年度にresearchmap V2公開予定。

The screenshot shows the researchmap homepage. A callout box labeled 'トップページ (2018-11-20参照)' points to the main content area. Another callout box labeled '科研費に関連した問い合わせが相次ぎ... (説明会で周知の結果?)' points to a notice about inquiries. A third callout box labeled '研究者番号がない、番号間違いが多い (実用に耐えない?)' points to a notice about researcher IDs.

researchmap

日本語 | English 新規登録 ログイン

ホーム 研究者検索 コミュニティ検索

トップページ

- 学術・研究イベント
- 人材募集
- 研究者ブログ新着!
- 研究講義資料新着!
- researchmapとは
- マニュアル・FAQ
- お問い合わせ
- サービス利用規約
- 新規登録について
- 研究者のみなさまへ
- リンクについて

トップページ (2018-11-20参照)

科研費に関連するお知らせ

現在、科学研究費助成事業（科研費）に関連した問い合わせを数多くいただき、回答に時間を要しております。順番に回答しておりますので、数日程度お待ちいただきますよう、お願いいたします。科研費に関連した質問等は[研究者のみなさまへ](#)を参照してください。

researchmapでは登録・更新の期限を定めておりません。必ずしも科研費の応募締め切り前までに登録・更新を行わなくても構いませんが、科研費の審査が始まる前までに、余裕をもって更新することをおすすめします。（科研費の審査時期は、科研費の公募要領によりご確認ください。）

研究者番号入力・見直しのお願い【NEW】

researchmapには、公的研究費に充当する際使用する「研究者番号」を入力する欄があります。

科研費に関連した問い合わせが相次ぎ... (説明会で周知の結果?)

研究者番号がない、番号間違いが多い (実用に耐えない?)

[本学] いまのところ導入予定なし。紙の時代の研究者データ (ReaD・1998～)を受け継いでいて、更新されないデータも多い。

### 研究機関(関西外国語大学)

図書館学術情報センター運営委員会

総務部

研究支援センター

…科研費の管理・適正な使用の確保

…旅費など物品以外

<コンプライアンス教育>

…物品の納品検収

…応募・使用・報告の手続き

<研究倫理教育>

研究者(本学教員)

- 科研費使用説明会の開催(総務部共催)
  - 科研費受給者全員(コンプライアンス教育を兼ねるため)に直接説明できる場
  - 本学リポジトリや学振のOA実施方針、研究データ保存と開示に関する周知など
- 研究者との日常的なやり取り
  - 物品の納品検収(全点) 例)論文投稿料、英文校正料、アンケート費用
  - 各種手続きの窓口 例)実績報告書の提出→

教員にリポジトリ関連の話ができる機会が多い

# [本学] 科研費関連のシステム④

## ■ 科研費支援Website…教員への周知やアンケート(学内限定)

> 科研費支援Website > まとめる



**科研費の成果を  
まとめる**

**実績報告書の提出などの周知画面**

◆ 科研費による研究期間が満了し、成果・実績をまとめる方

**What's NEW**

科研費の成果をまとめる

1 2 次 ▶ カテゴリ選択 5件

**2018/04/10** 科研費の研究が終了される方(6/15締切)へ [終了]  
「研究成果報告書」の提出(6/15締切)について  
>> 手続きを見る  
09:01 | まとめる

**2018/04/10** 実績・実施状況の報告書提出(5/11締切)について [終了]  
「実績報告書」「実施状況報告書」の提出(5/11締切)について  
>> 手続きを見る

新規申請の方

科研費に  
応募する

現在受給中の方

科研費を  
使用する

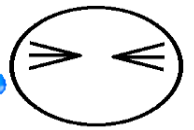

研究期間が終了する方

科研費の成果を  
まとめる

科研費の研究成果は、オープンアクセスの対象にも

# [本学] 科研費のスケジュール

研究成果の補足

		応募・内定	科研費の使用	報告
前年度	9月	公募開始(9月上旬)		
	10月	<b>応募する</b>		応募ルール(公募要領)
	11月	応募締切(11月上旬)		
	5月			
1年度目	4月	交付内定(4月初旬)		
		不採択者への審査結果開示		
	5月		<b>使用する</b>	使用ルール
	6月	交付決定・科研費の受領	＜字内＞科研費使用説明会 (コンプライアンス教育)	
	7月			
	8月			
	5月		前倒し申請 【補助金分】繰越申請 期間延長承認申請	<b>まとめる</b>
	1月		【基金分】2年度目の支払請求	
	2月			
	3月			
2年度目以降	4月		【補助金分】交付申請	報告書作成開始
	5月			実績報告書 実施状況報告書
	6月			
		最終年度終了まで同様の手続き		
最終年度終了後	4月			
	5月			実績報告書
	6月			研究成果報告書

しかし、研究成果と関連する「まとめる」の比重は、本学の科研費業務の上では小さく、重要視されない

# 科研費研究成果の報告書

## 基本的な考え方

科研費は、国民から徴収された税金等でまかなわれるものであり、研究者は、その成果を社会・国民にできるだけわかりやすく説明することが求められている。

### □毎年度「実施状況報告書」または「実績報告書」

- 本研究課題で得られた**研究成果すべて**

リポジトリ収録の  
調査対象となる

### □研究終了時「研究成果報告書」

- 本研究課題で得られた**研究成果のうち主要なもの**



OA化の文脈とは異なる

■ **研究成果の社会還元・国民への説明＝KAKENによる公開**とされる

# 科研費関連のシステム[再掲]

■ KAKEN <https://nrid.nii.ac.jp/index/>

科学研究費助成事業データベース。科研費による**研究の採択課題、研究成果の概要、研究成果報告書**などを一般公開し、科研費においてどのような研究が生み出されているかを国民に説明する役割も果たしている。

※DOIが入力されていれば、本文へのリンクが生成されます。

※**科研費論文**を研究者ごとに補足できます。

研究者検索画面では、研究成果のダウンロード機能もありますが、収録まではタイムラグがあるのが難点。



# 科研費関連のシステム⑤

- 科研費電子申請システム <http://www-shinseijspss.go.jp/kaken/>  
応募から報告書提出まで科研費のほぼすべての手続きに関わるシステム。  
※機関の担当者は提出書類のPDFと一部CSVデータがダウンロード可能。

The screenshot shows the homepage of the JSPS Research Fee Electronic Application System. The header includes the JSPS logo, the system name in Japanese and English, and navigation links for Japanese and English. Below the header, there are links for 'トップページ' (Top Page), '研究者の方 向け情報' (Information for Researchers), '所属研究機関担当者 向け情報' (Information for Institutional Staff), 'ご利用にあたって' (About Usage), and 'お問い合わせ先' (Contact Information). The main content area is titled '科研費電子申請システムへのアクセスについて' (About Access to the Research Fee Electronic Application System). It contains a paragraph about login procedures and a list of research categories with corresponding login links. The categories and links are: 特別推進研究, 新学術領域研究, 基盤研究, 挑戦的萌芽研究, 挑戦的研究, 若手研究, 研究活動スタート支援, 特別研究促進費, 特別研究員奨励費 (外国人特別研究員), 国際共同研究加速基金 (国際共同研究強化) -> 研究者 ログイン; ※e-RadのID・パスワードによりログインしてください。; 特別研究員奨励費 (特別研究員) -> 特別研究員奨励費 応募ログイン, 特別研究員奨励費 交付ログイン; ※研究機関から付与された特別研究員奨励費応募・交付用のID・パスワードによりログインしてください。; 奨励研究, 研究成果公開促進費 -> 奨励研究 応募者向けページ, 研究成果公開促進費 応募者向けページ; 科研費応募資格喪失者 -> 科研費応募資格喪失者.

JSPS  
科研費電子申請システム  
Japanese English  
独立行政法人 日本学術振興会  
電子申請のご案内総合トップページ

トップページ 研究者の方 向け情報 所属研究機関担当者 向け情報 ご利用にあたって お問い合わせ先

**科研費電子申請システムへのアクセスについて**

e-RadでログインID・パスワードを変更した場合、変更したログインID・パスワードで科研費電子申請システムにログイン可能となるまで、30分から1時間程度かかります。 e-RadでログインID・パスワードを変更した場合は、しばらく時間をおいて科研費電子申請システムにログインしていただきますようお願いいたします。  
なお、状況によりさらに時間がかかる場合がありますので、ご了承ください。

特別推進研究、新学術領域研究、基盤研究、挑戦的萌芽研究、挑戦的研究、若手研究、研究活動スタート支援、特別研究促進費、特別研究員奨励費（外国人特別研究員）、国際共同研究加速基金（国際共同研究強化）  
※e-RadのID・パスワードによりログインしてください。

研究者 ログイン

特別研究員奨励費（特別研究員）  
※研究機関から付与された特別研究員奨励費応募・交付用のID・パスワードによりログインしてください。

特別研究員奨励費 応募ログイン 特別研究員奨励費 交付ログイン

奨励研究、研究成果公開促進費

奨励研究 応募者向けページ 研究成果公開促進費 応募者向けページ

科研費応募資格喪失者

科研費応募資格喪失者

研究者用画面と研究機関用画面がある

# 科研費関連のシステム⑤

## ■ 科研費電子申請システム <http://www-shinsei.jsps.go.jp/kaken/> 実施状況報告書の研究者入力画面。業績の一括取り込み機能も。

【雑誌論文】  
【Journal Articles】

研究者画面

※「掲載論文のDOI」が付されないものについては「なし」を選択してください。  
※当該年度内に得られた研究成果について、発表したまたは発表することが確定した雑誌論文の内容を入力してください。  
※印刷中等の場合で巻や頁が未定の場合は「印刷中」等と入力してください。電子ジャーナル等で巻や頁に該当するものがない場合は「-」と入力してください。  
※雑誌論文一括取り込みファイルを登録することで、雑誌論文情報を一括で登録できます。  
※一括ファイルの登録方法は[こちら](#)を参照してください。

作成した雑誌論文一括取り込みファイルを選択してください。

ファイルが選択されていません。

1.掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) DOI of Article (Digital Object Identifier)	2.著者名 Name of Authors	3.論文標題 Article Title	4.雑誌名 Name of Journal	5.巻 Volume	6.発行年 Year of Publication	7.最初と最後の頁 First and Last Page	査読の有無 Referee Reading (or not)	国際共著 International Publications	オープンアクセス Open Access
1.DOI <input type="text" value="10.1002/LSICI.0002-8231(199601)47:1&lt;23:DOMTT&gt;2.0TX:2-2"/> <input type="checkbox"/> なし <input type="button" value="検索"/>	2.著者名 <input type="text" value="〇〇 〇〇"/>	3.論文標題 <input type="text" value="〇〇〇の研究"/>	4.雑誌名 <input type="text" value="JOURNAL OF 〇〇〇〇"/>	5.巻 <input type="text" value="1"/>	6.発行年 <input type="text" value="2011"/> 年	7.最初と最後の頁 <input type="text" value="19~32"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 有

研究機関画面からは、報告書(PDF)を全てダウンロード可能  
(残念ながらKAKENのような研究成果ダウンロード機能はありません)

## ○直近の課題

- － 科研費論文のオープンアクセス

## ○来年度以降の課題

- － 研究データ

# 関西外国語大学機関リポジトリ

○公開: 2017年1月 システム: JAIRO Cloud

- ・NII学術雑誌公開支援事業(NII-ELS)によって公開していた紀要を移行
- ・リポジトリの立上げ、データの移行は研究支援センターが担当

○コンテンツ内容: **紀要** (学内発行の逐次刊行物) **100%**

○登録件数: 2,508件 うち本文あり 597件 (23.8%) (2017年度)

○リポジトリ運営体制

図書館学術情報センター運営委員会

図書館(業務委託)  
日常業務全般  
(担当者: 1名)

研究支援センター  
管理運用



# 日本学術振興会(オープンアクセスの推奨)



- 「実施状況報告書」「実績報告書」に、オープンアクセス欄が設けられる(2014年度～)
- ☑ オープンアクセスとしている(また、その予定である)
  - ・雑誌論文をオープンアクセス誌に発表した場合や、機関リポジトリに登録するなどセルフアーカイブ等により公開した場合、あるいはその予定がある場合
  - ・なお、査読の無い学術雑誌に掲載された論文は、オープンアクセスの対象とならない(～2017年度)

○リーフレットを研究機関に配布(左図)

○科研費Webページによる広報

- ・学振の科研費ページに「オープンアクセス」を設置  
[https://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/01\\_seido/08\\_openaccess/index.html](https://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/01_seido/08_openaccess/index.html)

☆OA化論文数の割合: 約30.8%(約5万2千件)  
(「実施状況報告書」「実績報告書」による2017年度報告分\*)

学振は以前からOA化を推奨、OA化論文数は30%に

\*独立行政法人日本学術振興会の平成29年度における業務の実績に関する評価(文科大臣 2018.8)

[http://www.mext.go.jp/component/b\\_menu/other/\\_icsFiles/afieldfile/2018/10/15/1408962\\_1.pdf](http://www.mext.go.jp/component/b_menu/other/_icsFiles/afieldfile/2018/10/15/1408962_1.pdf)(2018-11-20参照)

# 日本学術振興会（オープンアクセス化方針）

## 基本的な考え方

公的研究資金による研究成果のうち、論文及び論文のエビデンスとしての研究データは、原則公開とすべき

＜第5期科学技術基本計画（2015～2020年度）＞

□報告「我が国におけるオープンアクセス推進のあり方について」（2015）内閣府

□審議まとめ「学術情報のオープン化の推進について」（2016）文科省

公的研究資金による論文については、原則公開とすることを第5期科学技術基本計画（2016～2020）に実行すべきである



■オープンアクセス「実施方針」（2017.3）

# 日本学術振興会（オープンアクセス化方針）

## 独立行政法人日本学術振興会の事業における 論文のオープンアクセス化に関する実施方針

[http://www.jsps.go.jp/data/Open\\_access.pdf](http://www.jsps.go.jp/data/Open_access.pdf)

### ○定義・・・論文のオープンアクセス化とは

- ・査読付きの学術雑誌等に掲載された論文を誰でもインターネットから時間や場所の制約なく無料でアクセスし入手できるようにすること

### ○推進方策

- ・公募要領等にオープンアクセス化の推進について明示

### ○対象範囲・・・対象となる研究成果とは

- ・本方針施行以降（2017年3月9日以降）に公募した事業のもの
- ・著作権等の理由や、所属機関のリポジトリがオープンアクセス化に対応できない環境にある等の理由により、オープンアクセス化が困難な場合はこの限りでない

# 日本学術振興会(オープンアクセス化方針)

「平成30年度科研費公募要領(2017年9月)」より

## (2) 科研費の助成を受けて執筆した論文のオープンアクセス化の推進について

日本学術振興会は、論文のオープンアクセス化に関する実施方針を定めており、日本学術振興会が交付する科研費をはじめとする研究資金による論文は原則としてオープンアクセスとすることとしています。

なお、著作権等の理由や、所属機関のリポジトリがオープンアクセス化に対応できない環境にある等の理由により、オープンアクセス化が困難な場合はこの限りではありません。



2018年4月交付内定・研究開始



対象は、2018年度が1年目の研究課題の「実績報告書」  
「実施状況報告書」(2019年5月提出)記載の論文



# [本学] オープンアクセス(OA)化の対象は？

(「実績報告書」(2018年度)作成上の注意) OAとは=「**学術雑誌等に掲載された論文**」

**想定対象：報告書の研究成果[雑誌論文]に記載されるもののうち学術論文**

科研費論文OA化の想定対象となる件数：**16件**/成果発表[雑誌論文] 52件中

Juunii2「NII資源タイプ」内容	件数 (A)	うちOA済 (B)	想定対象 (A)-(B)	(参考)JPCOARスキーマ 「資源タイプ」
学術雑誌論文	15	5	10	学術雑誌論文
紀要論文	11	8	×	紀要論文
一般雑誌記事	15	0	×	記事 など
図書(図書の章も含む)	3	0	×	図書(部分)
会議発表論文	8	2	6	会議発表論文

※2017年度の本学教員の報告書(39件)

- ・紀要論文は、発行機関でOA化すると想定
- ・一般雑誌記事は、学術論文ではないと想定
- ・図書は、本来[図書]欄に記述すべきものなので、除いている
- ・OA済と記入されているものも記入間違いがあり、再確認を要す
- ・成果発表52件のメタデータを全件登録するか、OA済の全文を収録するかなどは要検討

本学のシステム環境でも処理可能

## オープンアクセス化実施方針への対応

### ★対応しない？

#### ○実施方針が定められていることを知らなかった

・学振からの周知方法は、公募要領、科研費ハンドブック・・・

※科研費担当者なら、誰でもこの実施方針を知っている？

←本学では、教員に科研費使用説明会(出席必須)で周知済み

#### ○リポジトリがオープンアクセス化に対応できない環境にある

－ リポジトリはあるが具体的な収録対象・方針が未決定

－ 著者からの申請手段がなく、もし申請されても対応ができない

←本学ではこの状態。では、対応できるようにするには？

# オープンアクセス化実施方針への対応

## ★対応する？

### ○機関として

- 本学のリポジトリに登録することで、学振の実施方針への対応とする
- 科研費成果のリポジトリ公開は大学承認済。具体的内容を委員会で審議

### ○論文の公開手順は？

- 継続実施のため、教員にも、事務作業にも負担をかけない方法は？

#### ①著作権とオープン＆クローズ

著者からの申請書提出(共著者、論文内個人情報などの処理)

学会、出版社の公開条件調査

#### ②本文ファイルを著者から取得

#### ③リポジトリへの記録

DOI付与 / 助成情報の記録ができること(KAKENにリンクできない?)

### ○広報

- オープンアクセスの意義、方法について、教員に周知 →

## 科研費 論文を

科研費  
KAKENHI

## オープンアクセスに

科研費による研究成果論文は  
原則としてオープンアクセスとすることとなっています。

○日本学術振興会（実施方針）

URL: [http://www.jspss.go.jp/data/Open\\_access.pdf](http://www.jspss.go.jp/data/Open_access.pdf)

### (2) 科研費の助成を受けて執筆した論文のオープンアクセス化の推進について

日本学術振興会は、論文のオープンアクセス化に関する実施方針を定めており、日本学術振興会が交付する科研費をはじめとする研究資金による論文は原則としてオープンアクセスとすることとしています。

なお、著作権等の理由や、所属機関のリポジトリがオープンアクセス化に対応できない環境にある等の理由により、オープンアクセス化が困難な場合はこの限りではありません。

「平成 30 年度科研費公募要領」より

本学では、日本学術振興会に提出する「実績報告書」「実施状況報告書」の項目のうち、研究発表〔雑誌論文〕の学術論文が対象です。(平成 29 年 3 月 9 日以降に公募のもの)

### 【オープンアクセス化の主な方法について】

- ① 従来の購読料型学術雑誌に掲載された論文を、一定期間（エンバゴ）後（例えば6ヶ月後）、著者が所属する研究機関が開設する機関リポジトリ（※）又は研究者が開設するWeb等に最終原稿を公開（セルフアーカイブ）することにより、当該論文をオープンアクセスとする方法
- ② 研究コミュニティや公的機関が開設するWebに論文を掲載することにより、当該論文をオープンアクセスとする方法
- ③ 論文の著者が掲載料（APC: Article Processing Charge）を負担することにより、直ちに当該論文をオープンアクセスとする方法

（※）本学においては、関西外国語大学機関リポジトリ。機関リポジトリでの公開方法、公開に係

他大学の科研費論文のオープンアクセス化を進めましょうのパンフレットの物真似です。

こんな感じ？

## 研究データと科研費（保存と開示）

### ■「研究活動における不正行為等に関するガイドラインに基づく取組状況に係るチェックリスト(2015年度)」

研究データの**保存**及び**必要に応じた開示**を義務付ける**規定化**を求める

○日本学術会議による学振への回答「**科学研究における健全性の向上について**」(2015.3)掲載のガイドラインに基づき、本学でも規定化

◇概要…**研究者は**研究データを適切に**保存・管理**し、**不正行為の疑念が生じた場合は**研究データを**開示**しなければならない。

◇研究データとは…論文や報告等の**研究成果発表の根拠となった研究資料**(文書、数値データ、画像等)及び試料(実験試料、標本等)。

◇保存期間は…当該論文等の発表後、**研究資料は10年間**とし試料は5年間。

(参考)本学規程「人を対象とする研究」倫理ガイドラインでは、研究終了後原則直ちに廃棄。

### ■「チェックリスト(2018年度)」

研究データ(※)が規定通りに適切に保存等がされているかを**研究機関が確認**する、という項目が追加された。

(※)文科省の予算の配分または措置により行われる研究活動によって得られた研究データ

# 研究データと科研費

## 目 標

研究成果としてのデータ(エビデンスデータを含む)の管理・利  
活用のための**方針・計画の策定**を促進

＜第5期科学技術基本計画(2015～2020年度)＞

### □**統合イノベーション戦略**(2018) 内閣府

○**計画の策定** = 2021年度予算における公募までに、競争的研究  
費による研究実施者に研究データの管理・利活用のための計画策定  
を要請する制度を、各府省・研究資金配分機関において導入。



**科研費 2020年9月公募時、公募要領に??**

研究データの扱いが科研費担当者に提示されるのは、もう少し先  
のよう…。今後のこと、もう少し見てみましょう。

# 研究データと科研費

## □「統合イノベーション戦略」によると…

### ○方針(データポリシー)の作成

- ・内閣府が2018年6月までにガイドラインを策定【済】  
「国立研究開発法人におけるデータポリシー策定のためのガイドライン」(2018.6)
- ・ガイドラインを参考に2020年度末までに国研が方針を策定

### ○計画(データマネジメントプランなど)の策定

- ・各府省・研究資金配分機関によるガイドライン策定や公募要領改訂
- ・データマネジメントプランの策定の要請などを研究実施者に促す

### ○研究者や研究支援職員の意識向上

- ・JPCOARが2017年度に公開した研究データ管理プログラムの拡張版を開発し、受講促進へ

### ○共同利用システムの開発

- ・公的資金によるものは、機関判読可能性と相互運用性を確保
- ・研究データの管理・公開・検索を促進するシステムを2020年から運用開始

→(参考)内閣府・国際的動向を踏まえたオープンサイエンスの推進に関する検討会

<http://www8.cao.go.jp/cstp/tyousakai/kokusaioopen/index.html>

2020年度がターゲット?! このころにはいろいろ出揃うようですね。



おまけ

## ＜本学研究所の学術生産物＞

### ○研究所紀要・国際誌

- － 研究所紀要(人権教育思想研究所)は機関リポジトリ収載済
- － **国際誌(国際文化研究所発行)を電子化(2018年実施)**  
(過去2号分(著者は国内外に在住)をオプトインで処理、本学ではじめてDOIを付与、投稿規程を整備し新規投稿論文の電子化公開に対処)

### ○学内助成金(国際文化研究所)

- － 8～15グループ/年
- － 研究成果報告書(提出必須)
- － 助成金により研究会を開催し成果論文集の刊行も

### ○学内フォーラム(国際文化研究所)

(複数の教員グループによる研究発表)

- － 10～20グループ/回
- － 予稿集の印刷

★研究支援部署にいくらネタがあっても、  
みなさんの働きかけがなければ埋もれてしまうかもしれません。  
みなさんも、連携してネタを探してみてください。